

住んで良かった。これからも 住み続けたいと思える

神山・江田のまちづくりへ

信楽学区自治振興会 神山・江田分会
会長

北村 忠之



若葉が芽を吹き、山々がみどり色に染まり大変さわやかな季節の4月27日、『神山ふれあい会館』において信楽学区自治振興会神山・江田分会設立総会が開催されました。会長という大役にご選任いただき、身の引き締まる思いでございます。理事の皆さんはじめ、神山・江田両区民の皆さんにご協力・ご指導いただき1年間務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

市が提案された自治振興会によ

るまちづくりについては、昨年より市内各地で検討が進められ、信楽学区自治振興会は、地区内の事情により、信楽小学校区内の5つの区を、3分会に分け、まずは出発することになりました。

その内の一つの分会が神山・江田分会であり、設立に向けては、神山・江田の区長さんの話し合いのもと、両区より10名の設立準備委員が選出され5回の委員会がもたれ、いち早く設立されました。区長をはじめ役員の皆様の努力に感謝する

次第です。

今後、神山・江田分会では、今まで両区でそれぞれ行っていた行事を引き継ぎながら、また自治振興会で新しい事業にも取り組み、一步一步ゆっくりにではありますが、両区が今まで以上に結束を固め、地域の誰もが「住んでよかった。これからも住み続けたい」と思えるような地域づくりのため、計画を立て活動を進めていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

信楽学区自治振興会 神山・江田分会が発足

両区の良さを活かしたまちづくりを 展開してまいります!!

市が提案をされていた新しい地域コミュニティ自治振興会によるまちづくり。

この自治振興会によるまちづくりは、地域社会で少子高齢化が進む中、10年後、20年後を見据えたときに、現在の一つ一つの区だけでは、地域を守っていけないのではないかという心配があることから、隣同士の区がお互いに助け合えるための組織づくりを提案されてきたものです。

市の提案は、概ね小学校区単位による組織ではあり

ました。神山区と江田区も当初は、長野区・田代区・畑区の5つの区による一体化した組織が話し合われてきましたが、人口や面積、区間の距離などの地域事情からも、当面は、長野区は単独で、田代区と畑区が、神山区と江田区でそれぞれ協力することが決定され、今回、信楽自治振興会神山・江田分会が発足したものです。

今後、両区民の皆さんのご支援とご協力をお願いします。